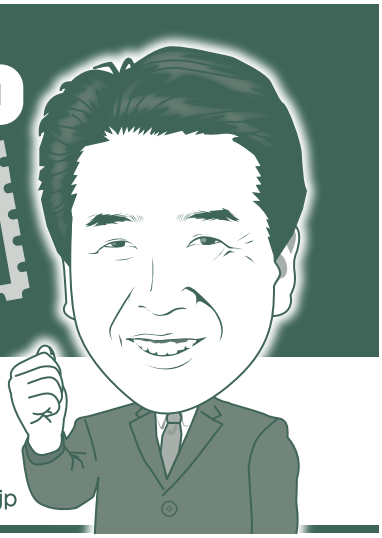
札幌市議会 市政報告 vol.19 2019.1

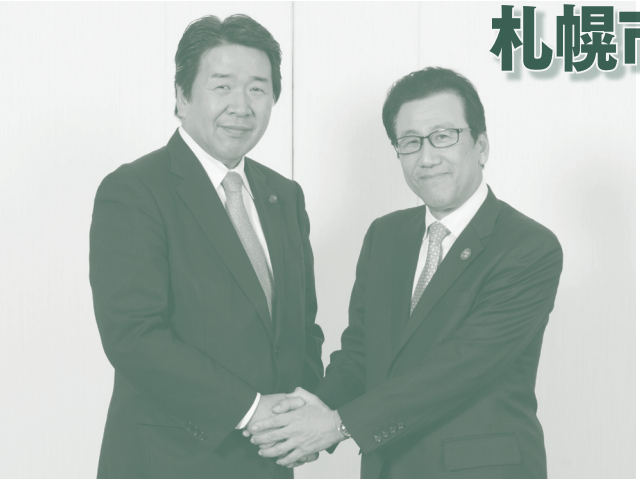
林せいじ 市政だより



市民が主役の街づくり。

［発行者］札幌市議会民主市民連合
〒060-0001 札幌市中央区北1条西2丁目 ☎011-211-3212
林せいじ事務所 〒002-8025 札幌市北区篠路5条2丁目3-14
☎011-775-6321 FAX011-775-6322
URL http://hayashi.main.jp/ E-MAIL hayasi-seiji-jimusyo@biscuit.ocn.ne.jp

札幌市の持続的発展を目指して 秋元市長とともに進みます



2019年新年を迎え、２期目の任期もあとわずかとなりました。この４年間は常任委員会および調査特別委員会の委員長又は副委員長を歴任しました。また、会派「民主市民連合」では前半は副政審会長、後半２年間は政審会長として市政に深く係わってきました。

12月に行われた札幌市議会第４回定例会代表質問では、秋元市政の総括を行いました。その内容は就任直後の議会において補正予算で観光に係わる予算を倍増するなど思い切った施策を実行し、基幹産業である観光振興に取り組み、来札観光客数ならびに外国人宿泊数が過去最高を記録するなど、経済活性化に寄与しました。また、49社の企業誘致に成功し、約26,000人の就業拡大に結びつける結果となりました。その他に共生社会の実現を目指し、障がい者コミュニケーション条例と手話言語条例の制定、性的マイノリティ支援、アイヌ文化の発信といった施策も実施してきています。私達会派議員も議会の中で、機会あるごとに市長の政策を拡充する意見提言をしてきました。

また、９月６日に発生した北海道胆振東部地震への対応についても、市長の指揮の下迅速な対策本部立ち上げと被災者支援や観光プロモーションに補正予算を組むなど早期対応を実施しています。秋元市長には今後も札幌市政のかじ取り役として頑張っていただきたいと思います。

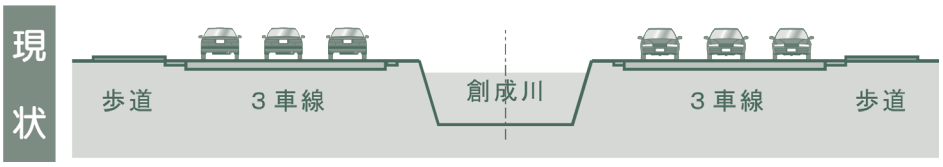
私が市議会議員に就任した2011年は３月に東日本大震災が発生したこともあり、私は議会ごとに、地域の皆様の声もいただき、再生可能エネルギーによる発電の拡大とエネルギー源の分散化、市有施設などの高断熱・高気密化と太陽光発電パネルと蓄電池の設置を求めてきました。この度の地震時の大規模停電においても市民への情報提供や携帯電話の充電などに活用できた施設もあり、今後更に拡大を求めていきます。また、地震発生後の避難所運営など課題もあり、更に市民生活を守る立場で提言していきます。皆様も市政に対するご意見など私「林せいじ」へお寄せください。

札幌市議会議員　林 せいじ

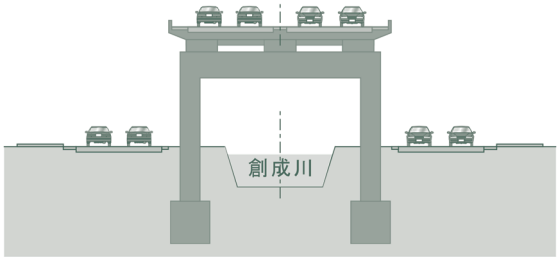
札幌市の今後の課題への対応

都心アクセス道路整備

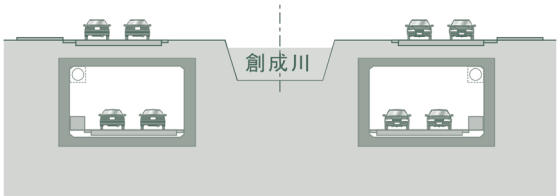
札幌市と国土交通省（北海道開発局）および北海道が検討を進めている、高速道路から都心へのアクセス向上のため、創成川通の整備について、会派として現在の渋滞状況などを考えると改善は必要と思いますし、これまで求めてきました。しかし、一部で示されているような高架道路、地下トンネル道路で、約1,000億円の整備費をかける必要があるのか、また大規模工事により長期間の工期による通行への影響を考慮する必要があります。私は右折帯の設置と冬期間除排雪の徹底で相当な効果が見込まれると予想しています。国土交通省との協議にはまだ時間がかかることとなりますが、地域の皆様のご意見をいただき市へ届けたいと考えています。



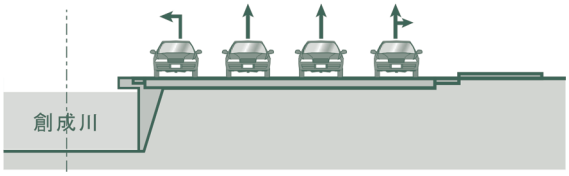
◆高架構造



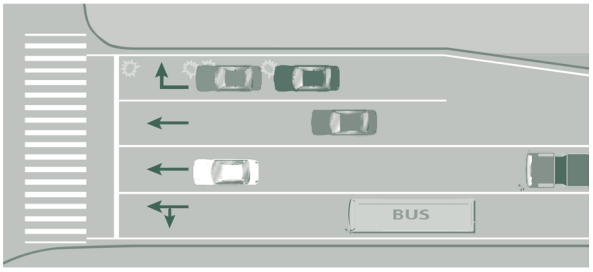
◆地下構造



◆交差点改良



右折車線を設置するなど交差点を改良



冬季オリンピック・パラリンピック招致

札幌市が進めている冬季オリンピック・パラリンピック招致ですが、9月に発生した北海道胆振東部地震からの復旧、北海道新幹線札幌延伸、まちづくりとの関連から、2030年招致を目指すことと変更になりました。この間、

市民の関心は高まらず、招致賛成の市民意見が低い状況を受け止め、今後市民へオリパラの意義、実施後の市への波及効果などを示すべきと考えます。また、実施計画作成に当たっては市民の声を取り入れる工夫も必要と考えています。

今後市民の声を多く聞く場を求めます。

交通体系整備

高齢化が進む中で、運転免許証を返納する市民も増加しています。また、市内バス事業者も運転手不足という課題を抱え苦慮しています。こうした状況で今後の公共交通ネットワーク維持は必要不可欠な課題であり、札幌市にふさわしいネットワーク検討を行い公共交通を守ります。

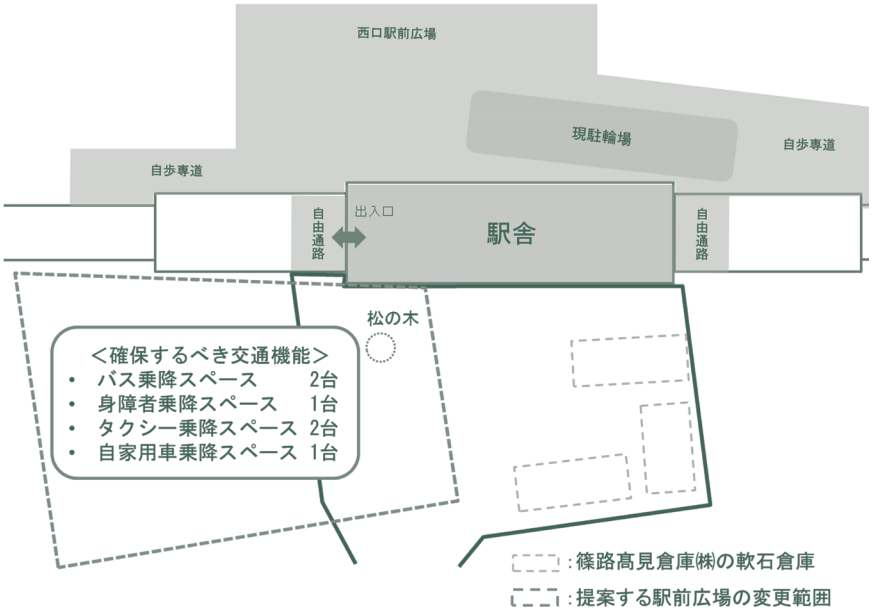
エネルギー効率の高い持続可能なまちづくり

市民および事業者に対して太陽光発電設備、家庭用燃料電池などの機器の導入拡大を進めるとともに、住宅の省エネルギー化を促進するために高断熱・高気密住宅の拡大を進めます。そのために市民向け補助ならびに事業者向け補助制度の拡大を目指します。

地域交流拠点整備

今後札幌市も人口減少社会を向かえます。また、2035年には超高齢化が進み市民の3人に1人が65歳以上となると推計されています。札幌市は主要な地下鉄駅・JR駅周辺などを地域の生活を支える拠点としての地域交流拠点として整備することを決定しています。現在は篠路駅周辺地区、地下鉄真駒内駅周辺地区などの整備計画策定を進めています。今後市内各地域で整備計画の検討が進むこととなります。地域の市民の声を活かし、どのように整備を進めていくのか、提言をしていきます。

篠路駅東口の再開発においては、一部市民から駅前の札幌軟石倉庫の保存について意見があり、地域住民を交えた「篠路駅東口駅前広場の在り方検討会議」での議論を得て、住民意見が決定しました。当初案では駅前広場の整備箇所が倉庫の位置になるため、篠路の歴史的価値のある倉庫を残したほうがいいとの声が上がり、約半年間地域住民、有識者などで構成する検討会議を設置して議論してきました。最終的な合意内容で当初案から駅前広場の位置を変更する内容の提言書を札幌市に提出し、札幌市は今後都市計画審議会にかけて、都市計画変更手続きを進めていきます。



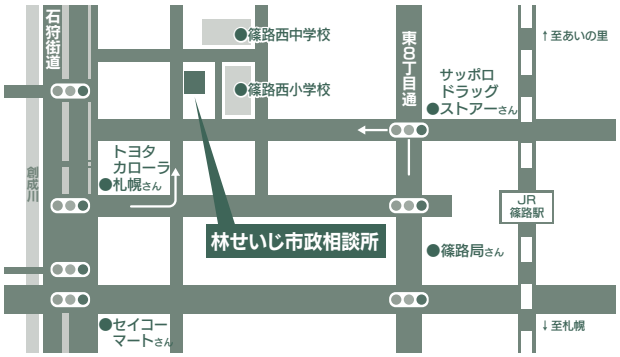
篠路駅東口駅前広場整備案（イメージ）

林せいじ活動報告

2019年度札幌市予算編成に対する要望書提出

2018年12月13日市議会「民主市民連合」として秋元市長に2019年度札幌市予算編成に対する要望書を提出しました。会派政審会長として要望書作成と他の議員からの意見取りまとめの中心的役割を果たしました。要望書は重点項目4項目と個別項目35項目となりました。重点項目4項目は「人口減少対策」「子どもの貧困対策」「防災対策の強化」「女性活躍推進」としました。来年度予算は4月に市長および市議会議員選挙が予定されており、本来であれば継続的な事業や例年実施している経常的な事務事業が中心となりますが、要望書では9月に発生した北海道胆振東部地震からの復旧・復興と被災者支援ならびに今後の防災対策などに予算計上していくことを求めています。北海道胆振東部地震に係わる課題等は市役所でも取りまとめ中ですが、会派としても検証し、2月に開催される第1回定例会の中で提言していきます。皆様からのご意見も寄せていただければ、活かして行きたいと思いますのでお願いいたします。

お知らせ

市政相談の際は、
お気軽にお立ち寄りください。

〒002-8025 札幌市北区篠路5条2丁目3-14
TEL 011-775-6321　FAX 011-775-6322